

2 令和5年度事業の概要

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,649千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【主管：東青教育事務所、下北教育事務所】

ア 地域課題解決スタートアップ研修会の開催

市町村の社会教育主事を始めとする社会教育関係職員(以下、社会教育主事等)、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体、地域住民等が、域内の市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組の方策について考えるワークショップを行い、実施可能な事業について検討する。

イ 事業の企画・実践【委託】

社会教育主事等、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等で構成される実行委員会が、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画する。また、地域ネットワークを効果的に活用し、地域人財の多様な視点を取り入れながら、企画した事業を実践する。

ウ 地域課題解決フォローアップ研修会の開催

「まとめ・環流」を目的に、実行委員会による実践発表及び事業成果を域内の市町村へ波及させるための意見交換等を行う。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

○内容：学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、学校が求める支援の内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、関係者同士による意見・情報交換を行う(各地区1回実施)。

○構成：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教職員、PTA、企業、商工団体、行政、地域学校協働本部関係者等

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業を新規開拓する。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業の周知を学校等に対して行い、企業による教育支援活動の一層の充実を図る。

ウ 教育支援活動展示会の開催

企業による教育支援活動を県民に広く周知することを目的とした「教育支援活動展示会」を実施することで、各企業による教育支援活動のさらなる活発化と、キャリア教育実践活動の一層の充実を図る(各地区1回実施)。

子どもの読書活動推進事業 3,426千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子ども

たちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【事業内容】

- (1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』
県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。
- (2) 子どもの読書活動推進大会の開催
広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図る。
○期日：12/3(日)
○場所：青森県総合社会教育センター
- (3) 青森県子ども読書活動推進計画
子ども読書活動推進計画の未策定市町村に対し、計画策定が進むよう働きかける。
- (4) 啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」第7版発行
令和4年度改訂作業を行った啓発小冊子について第7版を印刷・発行し、乳幼児期からの家庭における子どもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るとともに、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用する。

いじめ防止キャンペーン推進事業 7,441 千円

【事業目的及び概要】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【事業内容】

- (1) いじめ防止標語コンクール
小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品程度を選定、表彰する。
- (2) テレビCMの制作・放送
いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放3局においてテレビ放映する。

特別支援学校における家庭教育支援事業 707 千円

【事業目的及び概要】

障害のある児童生徒の保護者等が、子どもの健やかな成長のために、障害のある児童生徒の心理や行動について理解を深め、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や地域住民との交流を深める機会を提供する事業である。

【事業内容】

- 主 管 校：県内特別支援学校(20校)
- 開設時間：各4日間 10時間程度
- 対 象：障害のある児童生徒の保護者等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

地域と学校とのパートナーシップ強化事業 5,619 千円

【事業目的及び概要】

県域における地域学校協働活動の更なる充実を目的として、これまでの事業により形成された人材とのつながりを活かした研修会等の開催や、地域学校協働活動推進員の配置促進を図ることなどにより、地域と学校のパートナーシップを強めるための取組を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 地域と学校の交流会
ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会
「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、

またそれぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索する。

地区	期 日	場 所
三八	7/18(火)	友の会福祉会館（八戸市）
中南	7/19(水)	弘前市総合学習センター

・対象 地域活動者・企業等

イ 学校と地域のネットワークづくり

学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者が一堂に会し、交流を深めながら互いの理解を促進する。（ワークショップ等で交流を図る。）

地区	期 日	場 所
三八	9/25(月)	友の会福祉会館（八戸市）
中南	9/26(火)	弘前市総合学習センター

・対象 地域活動者・企業等、小・中・高等・特別支援学校教職員・地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員等

(2) 市町村地域学校協働活動支援

※ CSマイスター派遣事業(文科省)への対応、市町村教育委員会へのコミュニティ・スクールについての情報提供も含む。

ア 地域学校協働活動研修

地域学校協働活動推進員の委嘱等について中心的な役割をする市町村教育委員会担当者及び教職員の理解を深めるため、教育委員会担当者や教職員等を対象とし、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文科省の動向、県内外の先進事例等を学ぶ研修会を開催する。

地区	期 日	場 所
東青	8/ 9(水)	県総合社会教育センター
西北	8/22(火)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
中南	7/ 4(火)	弘前市中央公民館相馬館長慶閣
上北	7/27(木)	東北町コミュニティ・センター未来館
下北	7/ 5(水)	むつ来さまい館
三八	9/ 5(火)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ

・対象 市町村教育委員会職員(地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者等)、小・中・高等・特別支援学校教職員、地域学校協働活動推進員等

・講師 CSマイスター(文科省)等

このほか、市町村教育委員会職員(地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者等)を対象とした、実務的な内容の研修会の開催を検討中。(10～12月、青森市を予定)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や推進員配置、これらの有効な活用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー)が相談対応するほか、先行市町村等を仲介するなどして、課題解決のためのサポートを行う。(オンラインも活用)

・期間 通年

・内容 地域学校協働本部の整備及び地域学校協働活動の推進に向けた相談対応、先進事例等の紹介等

・方式 オンライン・対面(市町村の要望による)

(3) モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を1名ずつ配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と、教職員の働き方改革への効果について、検証を行う。

・モデル校 県立黒石高等学校、県立森田養護学校、県立八戸高等支援学校
(学校運営協議会制度導入済みの県立学校より3校)

学校・家庭・地域連携協働推進事業 40,776 千円

1 地域学校協働活動推進事業(県事業) 2,539 千円

【事業目的及び概要】

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

【事業内容】

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、地域学校協働活動及び放課後子ども総合プランの推進を図る。

ア 地域学校協働活動推進委員会

- ・構成：学識経験者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者、行政関係者、福祉関係者等 15名以内

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議

- ・対象：市町村放課後子ども総合プラン担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

- ・目的：地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る。
- ・日時及び場所：6/2(金) 県総合社会教育センター
- ・対象：市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等

イ 放課後子ども総合プラン支援員等研修会【主管：各教育事務所】

- ・目的：放課後対策等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。
- ・期日：前後期各1日(東青地区は前後期各2日)

地区	前期予定	後期予定
東青	6/13(火)、6/14(水)	9/12(火)、9/13(水)
西北	6/2(金)	10/6(金)
中南	7/11(火)	9/8(金)
上北	6/7(水)	10/31(火)
下北	6/13(火)	10/18(水)
三八	6/8(木)	10/17(火)

- ・対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネータアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行う。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 38,237 千円

【事業目的及び概要】

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

【事業内容】

地域学校協働活動(放課後子ども教室を含む)の取組を行う市町村(中核市を除く)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

予定 20 市町村、地域学校協働本部 33 本部、放課後子ども教室 69 教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町
弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 六戸町 おいらせ町 むつ市

あおもり家庭教育支援総合事業 2,566千円

〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催
 今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議する。
 ○構成：有識者、家庭教育支援者など 10名以内
 ○回数：年2回
- (2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成・周知
 家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布する。
 ○体裁：A4判小冊子「改訂版あおもり親楽プログラム」1・2・3の増刷
- (3) 家庭を支える連携・協働セミナーの開催
 市町村教育委員会、市町村児童福祉担当課等をはじめとする、家庭教育支援に携わる方が、予防的・早期対応型の家庭教育支援の体制構築の必要性、家庭教育の今日的な課題等について学習することで、地域における家庭教育支援の充実を図る。
 ○期日・場所：東青地区 8/31(木) 県総合社会教育センター
 中南地区 9/8(金) 青森県武道館
 ○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、市町村児童福祉担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て支援団体関係者、あおもり家庭教育アドバイザー、幼稚園・保育所・こども園職員、小・中・高等学校及び特別支援学校教職員、SC、SSW、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等
- (4) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催
 社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を開催する。
 ○場所：三八地区(12月)
 ○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て団体関係者、あおもり家庭教育アドバイザー、市町村児童福祉担当者、幼稚園・保育所・こども園職員、小・中・高等学校及び特別支援学校教職員、SC、SSW、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等
- (5) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催
 地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行う。
 ○期日：10/22(日)
 ○場所：県総合社会教育センター
 ○対象：家庭教育・子育てに興味関心のある県民
- (6) 祖父母向け孫育て研修会の開催(県地域婦人団体連合会へ委託)
 家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母だからこそできる孫との関わり方、家庭教育の今日的課題等に関する研修会を開催する。
 ○対象：孫等をもつ祖父母、家庭教育支援に興味のある方等
 ○回数：年1回×2地区(中南・三八地区)
- (7) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成(県読書団体連絡協議会へ委託)

幼稚園や小学校等で実施される読み聞かせ研修会等で講師を担当する「親子ふれあい読書アドバイザー」を養成するため、県内6地区で研修会を開催する。

○対象：教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等読み聞かせに興味がある県民

○回数：年1回×6地区

県総合社会教育センター

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 995千円

【事業目的及び概要】

大学生が在学中に専門的な研修（コミュニケーション、コーチング等）を受講し、一定のスキルを獲得した上で、中学生・高校生を対象にワークショップを企画運営してもらい、社会人としての実践力を身につけるための一助とする。

また、中学生・高校生は、ワークショップで、少し年上の大学生と自分の今と将来等について「カタル」ことにより、自分自身と向き合うためのきっかけづくりとする。

ワークショップの開催を通して、参加者全員が自らの夢や目標に向かい、主体的に行動できる人財の育成に繋がるとともに、双方のキャリア形成のサポートに資する事業である。

【事業内容】

(1) ワークショップ「キャリアサポ」（高校企画）、「Jr. キャリサポ」（中学校企画）の実施

中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

ア 時 期：8～3月

イ 対 象 校：実施希望の県内高等学校16校、中学校1校（県内地区限定）

ウ 対象生徒：高校生約2,200名、中学生約140名

(2) ワークショップ実施に向けたキャリア支援活動

ア 関係者研修会の開催

(ア) 教員研修会

(イ) キャリサポ研修会

(ウ) 大学生会議

イ 大学生研修会の実施

(ア) 基本研修

(イ) ワークショップ演習

(ウ) 模擬演習（合同リハーサル）

(エ) 応用研修

(オ) 企画チーフ研修

(カ) 中学校対応研修

高校生スキルアッププログラム推進事業 190千円

【事業目的及び概要】

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

【事業内容及び結果】

(1) 高校生スキルアッププログラム（スキルアップ認定証・奨励証の交付）の運営

(2) 教員研修会の実施

(3) 評価サービス

(4) 県民カレッジとの連携

青森で生きる未来人財育成事業 1,000千円

【事業目的及び概要】

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われるボランティア活動

に派遣し、異年齢交流などの多様な体験活動に参加させる。

【事業内容】

(1) ボランティアチーム養成講座の実施

異年齢交流などの多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。

	実施日時	内容・講師	定員
1	6/11(日) 14:00～15:00	テーマ：「ボランティア活動」 日本赤十字社青森県支部 事業推進課 主事 岩井雄太郎	100名
2	6/25(日) 14:00～15:00	テーマ：「災害ボランティア」 青森県社会福祉協議会 地域福祉課 課長代理心得 木村 亨	100名
3	7/9(日) 14:00～15:00	テーマ：「国際ボランティア」 JICA 青森デスク 国際協力推進員 阿部 翔太	100名

(2) ボランティアチーム員の派遣

ア 対象市町村

地域で行われるボランティア活動に派遣し、異年齢交流などの多様な体験活動に参加させる。

イ 内容

多様なボランティア活動(学習支援、レクリエーション、体験活動など)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

【事業目的及び概要】

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策の研究を目的として、高校生・大学生・専門学校生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

【事業内容】

(1) 団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)

(2) 団体の指定

(3) 団体の活動に対する支援

ア 研修室等使用料の減免

イ 運営会議・研修・作業等での教材開発室の使用承認

ウ 発表の場の提供(生涯学習フェア等)

エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置

オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介

カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス

キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整

ク 協力名義使用の承認(「協力 青森県総合社会教育センター」など)

(4) 研究のための代表者会議の開催

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

【事業目的及び概要】

学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携することを目的として、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む目的と重要性を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

【事業内容】

(1) 期日：11/16(木)

(2) 場所：県総合社会教育センター

(3) 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員等

(4) 内容

ア 講 義：地域とともにある学校づくり ～コミュニティ・スクールと地域の未来～

講師 CSマイスター 高校と地域の協働・共創 研究所 代表
一般社団法人まなびのみなと 代表理事 取釜 宏行

イ 事例報告：「地域とともにある学校づくり」に向けた県内事例の紹介

コーディネーター CSマイスター 高校と地域の協働・共創 研究所 代表
一般社団法人まなびのみなと 代表理事 取釜 宏行

あおもり家庭教育力向上事業 1,025 千円

〔事業目的及び概要〕

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人材を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座
 - ア 場所：県内2地区(中南地区/下北地区)
 - イ 定員：各30名
 - ウ 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等
 - エ 内容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。(全6回：6～11月)
- (2) あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座
 - ア 実施方法：あおもり家庭教育アドバイザーを対象としたオンライン講座
 - イ 定員：100名
 - ウ 内容：今日的な家庭教育支援の現状について、講義形式で学ぶ。また、各地区の情報交換を行う。(9月)
- (3) あおもり親楽プログラム普及活動
「あおもり親楽プログラム」を活用した研修会等に、あおもり家庭教育アドバイザーを派遣する。
- (4) あおもり家庭教育アドバイザー登録情報の管理
- (5) あおもり家庭教育アドバイザーの活用

家庭教育支援動画制作普及事業 3,866 千円

〔事業目的及び概要〕

子育てに対する不安や悩みを解決する糸口とし、家庭教育の充実を図ることを目的として、子育て情報を動画により発信する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 家庭教育支援動画制作普及のための委員会を設置
- (2) 家庭教育支援動画制作普及委員会の開催
 - ア 委託業者を審査・選定するための委員会
 - イ 次年度の動画制作に向けて意見交換するための委員会
- (3) 家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの制作(委託業者制作)
各家庭や地域での様々な子育て情報や取組等を盛り込んだ家庭教育支援動画(5分程度×6作品)、あおもり子育てネットCM(15秒×1作品)を制作する。
- (4) 家庭教育支援動画及びあおもり子育てネットCMの放映・配信
総合社会教育センターホームページや動画共有サービス等を利用した普及・周知を行う。
- (5) あおもり子育てネットのポスター・チラシの制作
あおもり子育てネットに関するポスター・チラシを制作し、県内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校、子育てに関する各関係機関、大型商業施設等へ発送し、周知する。

家庭教育相談事業 396 千円

〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族

- (2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～15:00
メール相談・24時間受付
- (3) 場 所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員が対応

県立図書館

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

【事業目的及び概要】

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

【事業内容】

- (1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス
「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、幼稚園・保育所等に貸出する。
- (2) 学習支援セット貸出サービス
調べ学習やブックトーク等に使える図書を62のテーマごとにセットにし、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出する。
- (3) ミニセット貸出サービス
全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出する。

県立梵珠少年自然の家

梵珠少年自然の家主催事業 1,615千円

(1) 看板事業

【事業目的及び概要】

小学生から中学生までの幅広い年代の「子ども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣の確立や仲間と協力しようとする態度を育ていく事業である。

【事業内容】

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
9歳チャレンジ キャンプ	7/15(土)～ 7/17(月) 【2泊3日】	小学3年～ 小学4年 の児童	24名	梵珠山登山、炊事、段ボール基地作り、キャンドルサービス、思い出クラフトなど
夏の7days キャンプ	8/5(土)～ 8/11(金) 【6泊7日】	小学5年～ 中学3年 の児童生徒	20名	自転車隊列移動、テント泊、野外炊事、ラフティング体験、ミニキャンプファイヤー、思い出クラフトなど
冬の3days キャンプ	1/12(金)～ 1/14(日) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年 の児童生徒	24名	かまくら基地作り、炊事、チューブそり遊び、館内暗闇ビンゴ、思い出クラフトなど
7歳わんぱくキャンプ	2/17(土)～ 2/18(日) 【1泊2日】	小学1年～ 小学2年 の児童	20名	スノーランド作り・遊び、炊事体験、思い出クラフトなど

(2) 養成事業

【事業目的及び概要】

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催を通して、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	【全体会】 4/14(金) 【個別研修会】 利用日の14日前までに実施	令和5年度 利用予定団 体の引率者	●全体会 任意参加 ●個別研 修会 必須参加	【全体会】講義、説明、活動プログラム体験※宿泊体験(希望者) 【個別研修会】引率者との打合せ、施設内一巡、活動プログラムの事前指導など
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー 【必修】 ・入門セミナー ・ふりかえりセミナー ・実践レポート 【選択】 ・9歳チャレンジキャンプ ・夏の7days キャンプ ・7歳ワンツーカーキャンプ ・冬の3days キャンプ	実施日は各事業を参照 ※入門セミナー 5/13(土) ※ふりかえり セミナー 3/9(土)	高校生及び 大学生	各事業により異なる	セミナーは「マスターコース」「サポーターコース」に分けられる。 【マスターコース】※単位付与有 左記事業を受講し、施設ボランティアとして、自主企画の実践や子どもたちの活動を支援することで、ボランティアとしての資質向上を図る。 【サポーターコース】※単位付与無 イベント(親子事業)等に運営協力者として参加し、各ブースの運営や参加者の活動支援、安全管理を行うことで、ボランティアとしての資質向上を図る。
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は11月 ～3月のみ対応	小・中 学 校、各種学 校、青少年 教育団体、 幼児施設 等	特に定 めない	対象の団体が開催する各種行事(事業)において、直接指導又は間接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。

(3) 親子事業

[事業目的及び概要]

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動を通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

[事業内容]

事業名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day	4/29(土)	小・中学生を 含む保護者 とその家族	事前予約制	春の自然散策、炊事体験、創作活動など
ファミリースプリング キャンプ (新規)	5/27(土)～ 5/28(日) 【1泊2日】		24 家族	テント泊、野外炊事 フリータイム(昼の部・夜の部)、 創作活動など
自然体験 ぼんじゅフェスタ	10/22(日)		事前予約制	館内食体験、野外炊事体験(ダッチ オープン、ホットサンドメーカー、 BBQコンロ)、野外活動体験、創 作活動体験など
冬をいろどる クラフト day	12/10(日)		事前予約制	クリスマス・お正月飾りの創作活 動など(昼食提供やセルフカフェ の開設あり)
冬を楽しむ ホワイト day	2/4(日)		30 家族	野外活動①(選択体験:午前)、炊 事体験、野外活動②(自由体験:午 後)など

県立種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典) 440千円

〔事業目的及び概要〕

年長児・小・中学生が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	募集 定員	内 容	
たねさしワールド 「春を感じて」	5/14(日)	年 長 児 ・ 小 ・ 中 学 生 と その 保 護 者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他	
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	7/1(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト作り、磯遊び 他	
	7/2(日)		100名		
	9/2(土)		100名		
	9/3(日)		100名		
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/15(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・里山や海岸散策、創作活動 他	
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 ※2回開催	12/2(土)		50名	創作リースを作ろう ・リースづくり	
	12/3(日)		50名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	2/3(土)		4歳以上の 幼保・小・中 学生とその 保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/4(日)		100名		
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/24(土)	小学3年	40名	子どもだけでとまってみよう ・仲間づくり、レクリエーション、夜の森探検、創作活動 他	
	~25(日)	~4年			
	3/2(土)	小学1年	40名		
	~3(日)	~2年			

(2) 子どもの祭典

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/29(土) ~30(日)	小学5年~ 中学3年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事
おいでよ! サマーキャンプB	8/5(土) ~6(日)		30名	・ナイトハイク ・山や海での活動 他
わくわくどきどき ウインターキャン プ	12/25(月) ~27(水)		20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ウォークラリー 他

自然体験活動支援事業 275千円

〔事業目的及び概要〕

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、子どもたちに自然体

験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は 原則として 実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、放課後児童 クラブ、青少年団体 や成人団体 等	1団体 10名 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中 で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、どん ぐりアート、動物マグネット、たねさ し万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	6/3(土) ～4(日)	幼保・小・中学校教 員、高校・大学生、 児童館など関係機 関の指導者、その他 自然体験活動に興 味のある方	35名	・野外炊事や創作活動等のプログラ ムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練 他

在学少年宿泊指導者研修

[事業目的及び概要]

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/27(木)～28(金)

○場所：種差少年自然の家

○対象：令和5年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

[事業内容]

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業 220千円

[事業目的及び概要]

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族及び小・中学校の教員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/23(土) ～24(日)	小・中学生と保 護者、小・中学 校の教員	10組 30名	親子キャンプで防災力、減災力を身に付け よう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

若者の社会参加促進事業 1,018千円

【事業目的及び概要】

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、就労体験や自然体験活動を実施する事業である。また、若者の社会参加を促進することを目的に、地域の青年組織、または新たに活動を始めようとする若者団体(以下、「若者団体等」)が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。

【事業内容】

(1) 困難を抱えている子ども・若者支援

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ3回ずつ実施する。

ア 自然体験・交流塾

(ア) 第1回【体験活動を通じた交流会】

- 期日：[梵珠会場] 7/8(土) [種差会場] 7/22(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：野外炊事、創作活動 等

(イ) 第2回【自然体験活動】

- 期日：[梵珠会場] 9/9(土) [種差会場] 9/30(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：自然体験活動、創作活動 等

(ウ) 第3回【就労体験】

- 期日：[梵珠会場] 1/27(土) [種差会場] 2/17(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：就労体験、創作活動 等

イ 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

会場ごとに、第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

(2) 若者の社会参加促進事業プランの実践

若者の社会参加を促進し、地域とのつながりを形成するため、若者団体等が企画立案する地域の課題等を踏まえた事業プランの実施を支援する。また、本事業の実施については、生涯学習及び社会教育、地域づくり関連の事業を実践しているNPO法人、地域づくり団体等へ委託して行う。

ア 研修会の開催

県内在住の若者団体等が、地域活動への参加や若者同士の関わり、地域のつながりを形成するモデル事業プランを企画し、実践するためのノウハウや組織運営の在り方等について学ぶ。

イ 事業プランの企画・実践

若者団体等により、地域の課題等を踏まえた事業プランを企画し、実践する。

ウ 実施後の事業プランの周知

県総合社会教育センター

パワフルAOMORI！創造塾 1,196 千円

〔事業目的及び概要〕

地域活動に係る潜在的な人材を掘り起こし、講義・演習や企画・運営を通して、地域を担う人材を育成するとともに、育成した人材相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進する。

〔事業内容〕

- 期日：第1回講座「出会う」 7/22(土)
- 第2回講座「つながる」 8/26(土)、27(日)
- 第3回講座「広げる」 9/30(土)
- 第4回講座「楽しむ」 10/21(土)
- 第5回講座「届ける」 12/2(土)
- 場所：県総合社会教育センター
- 対象：青森県在住でおおむね20～40代の方、地域を元気にしたいという想いのある方
※原則全回出席できる方、取材等外部への情報公開について理解していただける方、卒業後もネットワーク形成に協力していただける方
- 募集人数：20名程度
- 受講料：無料(但し、交通費や通信費は自己負担)
- 内容：講師による講義・演習、地域活動を企画・運営する実践活動、研修成果に係る発表会、「振り返りシート」による研修記録の積み重ね

地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業 801 千円

〔事業目的及び概要〕

地域の子どもの望ましい職業観や人生観を育むことを目的として、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者が相互に理解を深め、キャリア教育推進に向けた体制を整備するための研修を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会
 - ア 期日・場所：下北地区 6/22(木) むつ市立むつ中学校
西北地区 11/7(火) 鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校
 - イ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員等
 - ウ 講師：認定NPO法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム
 - ア 期日：10/27(金)
 - イ 場所：県総合社会教育センター
 - ウ 対象：教育支援活動推進員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員、一般県民等
 - エ 講師：一般社団法人十勝うらほろ^{がくしや} 代表理事 近江 正隆
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
 - ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録
 - ウ 学校からの依頼に対する仲介

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 756 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[事業内容]

(1) センター研修(全6回)

	実施日時	場所	内容	定員
第一回	5/11(木) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「生涯学習・社会教育概論」 講師:岩手県教育委員会 教育委員 新妻 二男	30名
第二回	6/16(金) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「青少年体験活動の充実」 講師:國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 准教授 青木 康太朗	30名
第三回	7/5(水) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「次代の地域を担う若者の育成」 講師:NPO法人「おむすび」 副理事長 大畑 伸幸	30名
第四回	8/22(火) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「学ぶって楽しい」 講師:Mr. マサックこと工藤 貴正 (※県民公開講座として実施)	100名
第五回	10/11(水) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「障害者の学びの機会充実に向け」 講師:ボランティアサークル「麦の会」 代表 若木 政人	30名
第六回	11/1(水) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「社会教育関係職員の資質向上」 講師:岩手県生涯学習振興協会 事務局長 佐々木 勉	30名

(2) 地区研修

	実施日時	場所	内容	定員
東青	5/18(木) 13:00 ～15:00	県総合 社会教育 センター	テーマ:「多様な人々のつながりと新しい技術の活用による生涯学習・社会教育の推進」 講師:弘前大学 教育学部 講師 深作 拓郎	30名
西北	9/22(金) 13:30 ～16:10	つがる市 生涯学習 交流セン ター 松 の館	テーマ:「地域と防災」 講師:一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子	30名
中南	8/29(火) 13:30 ～16:00	黒石公民 館(旧黒 石市民文 化会館)	テーマ:「異文化共生」 講師:アイピーコンフィグ株式会社 取締役 リー ニョクペン	30名
上北	5/31(水) 14:00 ～16:00	六戸町文 化ホール	テーマ:「持続可能な地域づくりに向けた、 生涯学習・社会教育関係職員の役割と人財の育成」 講師:日本人財発掘育成協会 理事長 坂本 徹	30名
下北	9/26(火) 13:30 ～16:00	むつ合同 庁舎	テーマ:「事業の企画力の向上」 講師:弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英	30名
三八	10/4(水) 13:30 ～15:40	階上町 道仏交流 センター	テーマ:「地域を活性化させるためのつながりづくり」 講師:いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹	30名

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

県生涯学習課

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 802 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校(特別支援学校)の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

〔事業内容〕

特別支援学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

- 実施予定校数：8校
- 対象：一般県民(小中高生を含む)

障害者の生涯学習支援事業 1,014 千円

〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

- 場所：県内特別支援学校(15校)
- 時間：各3日間 8時間程度
- 対象：障害のある青年等
- 内容：(1) 社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)
- (2) スポーツ体験交流

県総合社会教育センター

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 987 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の誰もが、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材を配信するため、各種学習教材の管理を行うとともに、配信に要するサーバ機器等を維持管理する事業である。

〔事業内容〕

- (1) インターネットによるeラーニング学習教材の配信
 - ア 元気青森人 PowerUp コンテンツ
 - イ あおもり学インターネット講座
 - ウ あおもり子育てネット
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理

学習情報の収集・提供事業 7,343 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、インターネットにより県民へ提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
 - 4 情報(学習機会、指導者人財、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理
 - 学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

ボランティア関係機関職員養成講座 226 千円**〔事業目的及び概要〕**

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型の講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す。

〔事業内容〕

「今だから、ボランティアそもそも論」をテーマとした講座の実施

ア 期 日：7/7(金) 13:00～15:30

イ 講 師：大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長 永井 美佳

事例発表者：ひろさきボランティアセンター ボランティア支援員 鶴見 智之

NPO法人日本人財発掘育成協会 事務局長 大鷹 依子

学生団体 レスタ 前代表 須藤 優海

ウ 開催方法：会場受講、オンライン受講

エ 受講対象：あおもり県民カレッジ連携機関関係者、NPO、ボランティア関係団体職員、ボランティアに関心のある高校生・大学生、一般県民等

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 516 千円**〔事業目的及び概要〕**

16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともに、その活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務

あおもり県民カレッジ運営業務**〔事業目的及び概要〕**

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
学生募集、学生証の交付、単位認定、認定証交付式の実施、単位認定に係るサービス、学友会の活動支援
 - イ 連携機関への対応
登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催による講座(地域キャンパス講座)の開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 子ども向けイベントの開催
 - ウ 情報収集
連携機関等への取材、社会参加活動に関する情報収集
 - エ あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の発行による情報提供
 - オ 各種メディアを利用した広報
 - カ ホームページ、フェイスブックによる情報提供
- (3) 学習相談・学習情報提供
 - ア 学習相談
 - イ 学習機会情報、ボランティア活動情報の収集・提供

- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座の開催(県内6地区で開催)
 - イ Web会議システム等の活用研修
- (5) ボランティア活動の支援
 - ア 社会参加活動支援センターの運営
 - イ ボランティア講師による自主講座の開催
 - ウ 「まなびサポーター」の募集と活動支援

インフォメーションプラザありすの運営

〔事業目的及び概要〕

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物の閲覧サービス等の業務を行う。

〔事業内容〕

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ありす内ラーニングスペース及びロビー等の整備
- (4) 館内展示スペースの整備

県立図書館

読書バリアフリー推進事業 1,612千円

〔事業目的及び概要〕

視覚障害者等さまざまな障害のある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデージー図書等のアクセシブルな書籍の購入や拡大鏡等の読書バリアフリーのための機器・用具を整備する事業である。

〔事業内容〕

読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備

近代文学館 特別展開催事業 1,796千円

〔事業目的及び概要〕

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：特別展「あおもりのえほん」
- (2) 会期：7/1(土)～10/9(月)
- (3) 内容：展示、特別展イベントを実施する。
 - 展示：馬場のぼるによる「11ぴきのねこ」シリーズをはじめとして、作家や児童文学者、芸術家など、様々な分野で活躍する青森県出身者が絵本を作成している。そのような「青森に関わりのある絵本」を紹介する展示を開催。
 - 特別展イベント：特別展と青森県の文学に関心を持ってもらうことを目的として、特別展のテーマに関連したイベントを開催。

近代文学館 企画展開催事業 564千円

〔事業目的及び概要〕

文学にあまり興味・関心を持っていない中高生を中心とした新たな層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：企画展「あおもり文学食堂」
- (2) 会期：12/7(木)～3/10(日)
- (3) 内容：生活の中に必ずあるものが食であり、文学作品にも少なからず食事に関わる場面が登場する。「食」という観点から作品や作家を捉えることで、その作品や作家の背景となっている「生

活」や「郷土」、「食文化」といった、本質的な部分を垣間見ることができる。「食」という切り口から青森に関わる作品や作家を紹介する展示を開催。

アウトリーチサービス推進事業	428 千円
----------------	--------

〔事業目的及び概要〕

心身に障害があるなどの事由により、図書館への来館が困難な者に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・メール等により希望図書の申込みを受け、宅配便を利用(費用は図書館が負担)して貸出・返却を行う。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,048千円

[事業目的及び概要]

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第16期青森県生涯学習審議会

- 委員：15名
- 任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)
- 審議テーマ：「障害者の生涯学習の推進方策について」
- 会議等の予定：第3回(5月)、第4回(10月)、第5回(12月)、先進事例実地調査(7～8月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,145千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

[事業内容]

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

- 調査テーマ：未定
- 顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。
- 報告書：120部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の運営 116千円

[事業目的及び概要]

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

[事業内容]

(1) 青森県社会教育委員の運営

ア 第36期青森県社会教育委員

- 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
- 任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)
- 調査研究テーマ：「障害者の生涯学習の推進方策について」
※青森県生涯学習審議会の審議テーマに基づき、必要に応じて調査研究を行う。
- 会議等の予定：第2回(11月)

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 265 千円**【事業目的及び概要】**

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

【事業内容】

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和5年度青森県の社会教育行政」の作成配付(550部作成予定)

社会教育主事有資格者育成派遣事業 619 千円**【事業目的及び概要】**

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

【事業内容】

- 派遣研修：社会教育主事講習(秋田大学)
- 研修期間(予定)：7/24(月)～8/18(金)

生涯学習専門講座派遣事業 184 千円**【事業目的及び概要】**

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

【事業内容】

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数：各1名

社会教育主事等一般研修 159 千円**【事業目的及び概要】**

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

【事業内容】

- 研修会の開催：年3回予定

在学青少年育成費補助事業 359 千円**【事業目的及び概要】**

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

【事業内容】

- 東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。
- 内容：主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。
 - 実施場所：県立高等学校6校
(青森北高等学校、青森中央高等学校、十和田工業高等学校、三本木農業恵拓高等学校、弘前工業高等学校、尾上総合高等学校)

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P20 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県総合社会教育センター

ボランティア関係機関職員養成講座(再掲)

(P23 (3)生涯を通じた学びと社会参加の推進に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)

(P20 (2)活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載)

県立図書館

県立図書館資料整備 65,475 千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

なお、令和3年度から電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

[事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 60,611 千円

(うち電子書籍 5,280 千円)

近代文学館 4,864 千円

市町村立図書館等職員研修事業 262 千円

[事業目的及び概要]

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的に、初任者研修、基本研修及び学校図書館支援研修等を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために図書館相互協力事業等担当者会議を開催する事業である。

[事業内容]

- (1) 図書館相互協力事業等担当者会議 年1回 5/18(木)
- (2) 市町村立図書館等職員初任者研修 年1回 6/7(水)～6/8(木)
- (3) 市町村立図書館等職員基本研修 年1回 7/12(水)
- (4) 学校図書館支援研修 年1回 9/14(木)
- (5) 市町村立図書館等職員ステップアップ研修 年1回 11/9(木)